

令和5年度

石狩浜海浜植物保護センター 中間報告



I. 情報・学び・体験の場としての施設機能を充実させる

①展示室

1.常設展示の維持管理	石狩浜の成り立ち、海浜植物の生態的な特徴、石狩浜の生態系といった石狩浜の自然環境保全の基礎となる情報について展示をすることで、石狩浜の基礎的な情報を知ってもらい次の興味に繋げる。
2.フィールドマップの管理	石狩浜全体と周辺の自然に関する情報の発信。
3.観察園開花情報の発信	観察園の開花状況や、最新の様子の発信、観察園の日常を記録し、長期的な自然情報の記録とする。

【中間報告】

1.常設展示の維持管理



令和5年は、石狩浜ハマナス再生プロジェクトの一部を修正し、壁の空スペースを使い、調査研究発信を主に展示する展示スペースを作成しました。その他展示については、日々の業務の中で修繕等の補修を実施しています。

2. フィールドマップの管理



令和4年度の反省を踏まえ、令和5年はもともとあった保護地区の説明をフィールドマップに移すことで保護地区の情報をより多くの人に見られるようになりました。

その他、河口地区の情報など写真で表示しました。

3. 観察園開花情報の発信



令和4年度は職員による発信をしていましたが、令和5年は現地で働く普及員によって写真を撮って展示してもらうようになりました。

そのため、より早い観察園の情報を発信し、観察園での誘導に繋がっています。

①観察園

1.園路およびサインの整備・維持管理

来館者が安全・安心な環境のもと、快適に園内散策ができるように整備をする。

2.ゾーンの目的に沿った植生維持管理

- ①来館者に対し、石狩浜の見本的な植生を観察できる場とする。
- ②アクティブラーニングを主として、海浜植物の生体的な特徴を展示と連動して学べるように管理する。
- ③知り得た情報を蓄積し、海浜植物の保全に活用する。

【中間報告】

1.園路およびサインの整備・維持管理



場所や植物の名前をプレートに書いて設置しています。令和5年もドクガの発生早く、来館者が安心して見学できるように注意喚起や駆除をしています。

2.ゾーンの目的に沿った植生維持管理



令和4年度の閉館時に整備した湿地ゾーンについて、引き続き令和5年も観察しています。

全体的な整備については、自生地の情報参考に植生を近づけつつ、特に再現区を環境学習などで活用できるように外来種をできるだけ取り除き、再現しています。



③ハマナス再生園

利活用のためのハマナス再生園の整備・維持管理

多様な主体の参加による植生維持管理を進め、活用する。

【中間報告】

利活用のためのハマナス再生園の整備・維持管理



令和5年も引き続き再生園のハマナスを活用した事業を進めるために、ハマナスの成長を阻害する外来種を引き続き除去しています。

5月11日に実施したhealthyタイムでは、イネ科外来種の除去と、苗の植え替えをしました。

④情報発信

1.ホームページ維持管理

石狩浜の自然について、遠隔地に向けた普及啓発を目的に、ネットワークを活用した情報発信。

2.情報誌の発行

また、市民の自主的な石狩浜の保全活動につながる情報の発信、活動の展開を図る。

3.近隣施設での情報案内

4.CISEネットワーク・館ネットワーク・その他団体主催事業への協力・出展

石狩市外を中心に、石狩浜及び保護センターについて積極的なPR。自主的な活動が円滑に進むための広報等を支援する。

【中間報告】

3.近隣施設での情報案内



～海からのおくりもの～

ひょうちやくぶつ

漂着物であそんでみよう

石狩浜には石狩川からきたもの、
海の中から来たもの、

たくさんのもので出会いがあります。

それらを観察しながら、クラフト体験してみよう♪

※グルーガン(熱ポンド)を使います。ご利用の際は、STAFFにお声かけ下さい。



募集中!!

みんなが出会った漂着物、
おすすめしてくれる方を募集しています!!
漂着物はクラフトの材料として
保護センターで活用させていただきます!!
※ご協力してくれた方はポストカードプレゼント!!

#石狩浜海浜植物保護センター #クラフト体験 #海からのおくりもの

石狩市民図書館では引き続き海浜植物花壇の整備をしています。保護センターに来ることが出来なくても身近に海浜植物を見られるように、こまめに雑草やプレートを立てています。

その他、クラフト体験では作品をSNSで発信してほしいことから、ポスターにハッシュタグ(#)をつけて発信してもらうような促しをしています。

4.CISEネットワーク・館ネットワーク・その他団体主催事業への協力・出展

令和5年については、コロナで中止していた館ネットワーク主催のウミベオロジーの実施が検討され、図書館での子ども向けイベントも実施する予定されているため、市内の機関と連携した海浜植物の普及啓発が予定されています。

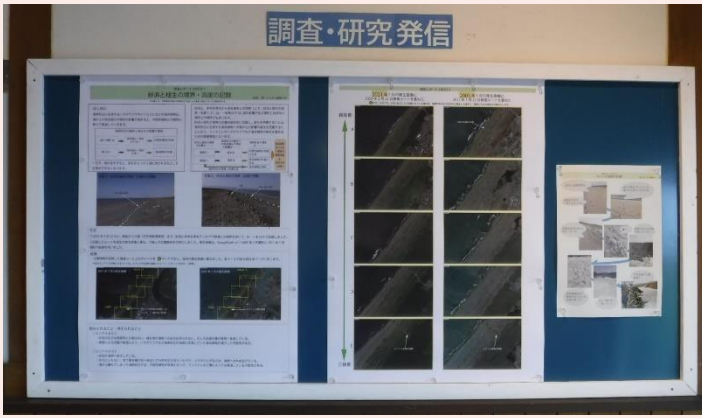
⑤調査研究の発信

調査研究報告、学習報告等の掲示

石狩浜の自然や保全について、最前線で活動する専門分野の情報を科学的な視点から発信するほか、保護センターを利用した教育機関からの学習成果等の掲示など、保護センター職員以外の視点から石狩浜の活動を発信する。

【中間報告】

調査研究報告、学習報告等の掲示



令和5年については、展示スペースをパネルから常時壁に掲示できるように整えることで、多くの人の目に留まるような配置替えをしました。現在は植物ラボによる浜崖調査について展示しています。今後も石狩浜でしている調査研究を中心に発信していく予定です。

⑥来館者のニーズ、意識把握

アンケートの実施

来館者からの意見を聞く機会の創出。

【中間報告】

アンケートの実施

石狩浜海浜植物保護センター 利用者アンケート

ご来館日 令和 年 月 日

Q1. お住まいについて伺います。当てはまる項目に○を記入してください。

1. 石狩市 2. 札幌市()区 3. 道内 4. 道外

Q2. 年代について伺います。当てはまる項目に○を記入してください。

1. 20歳未満 2. 20代 3. 30代 4. 40代 5. 50代 6. 60歳以上

Q3. 当センターのご利用に関して伺います。

Q3-1. 当センターは年に何回ご利用されますか。	Q3-2. 本日の来館目的を教えてください。(複数回答可)	Q3-3. 当センターをお知りになったきっかけを教えてください。
1. はじめて。 2. 数年に1回 3. 年に1回 4. 年に()回 5. その他	1. なんとなく入ってみた。 2. 休憩・トイレ。 3. 簡易情報を知るため。 4. 石狩浜の自然を知るため。 5. 保護活動について知るため。 6. 当センターのイベントへの参加 7. 観光 8. その他(具体的に)。	1. 通りがかり。 2. 新聞・雑誌。 3. 広報紙しかり。 4. 当センターホームページ 5. 他施設での情報。 6. その他(具体的に)。

Q4. 当センターをご利用になって面白かったり興味深かったり感じた展示や活動がありましたか。当てはまる項目すべてに○を記入してください。

1. 特になかった。
2. 季節の自然情報 花ごよみ、フィールドマップなど。
3. 石狩浜の自然に関する展示 ※下記のおでほまる展示に○を記入してください。
海浜植物保護のあゆみ・地形のなりたち・石狩浜の自然・海浜植物・海辺の生き物。展示室館・その他()。

4. 観察園。
5. 石狩浜ハマナス再生プロジェクト・ハマナス再生園
6. その他 具体的にありましたらご記入頂けます。

表面につきます ➡

令和3年度から引き続きアンケートを実施しています。

II データに基づく保全対策

③希少種

項目	目的
1.希少種イソスミレの生育状況の把握	希少種イソスミレの生息地について、地理情報及び植生構成を押さえ、環境変化に左右されやすいイソスミレの保全対策に繋げる。
2.ハマボウフウの生育状況と採取の影響把握	保護地区内外のハマボウフウの生育状況の比較と継続的な採取圧による生育への影響を把握し、今後の自然ふれあい地区におけるハマボウフウの科学的データに基づいた持続可能な資源利用への根拠データに資する。

【中間報告】

1.希少種イソスミレの生育状況の把握



石狩市海浜植物等保護地区内において過去に実施していたイソスミレ調査のモニタリング調査を令和5年5月17日に実施しました。今年度は簡易的に位置情報の取得と、花の開花状況を目視しました。

Ⅲ 自然資源の適正管理と適正利用

③ふれあい地区のルールของ普及啓発

項目	目的
ハマボウフウの生育状況調査と連動した参加型普及啓発調査	ふれあい地区の本来の意味である自然とのふれあいを通じた海浜植物等の保護を目指すために、保護地区の持続的な活用を目指した企画の開催と継続。

【中間報告】

ハマボウフウの生育状況調査と連動した参加型普及啓発調査



令和5年は5月13日に小学生の親子2組にご協力いただき、この時期に刈り取ったハマボウフウと刈り取らないハマボウフウが夏までにどれだけ成長するスピードが違ってくるかの調査をお手伝いしてもらいました。

この結果については夏にもう一度様子を見て、参加いただいた家族含めて調査として発信する予定です。